

9月のどきどき

追分美術協会50周年

昭和37年の協会発足から今年で50年を迎える追分美術協会が9月4日、追分公民館で記念式典を開催しました。

戦後から追分の文化活動の中心となり活躍された故菊池茂氏らが絵画、書道、写真の三部門を設けて結成した美術協会。現在は、会員の減少や高齢化などの苦勞もあるようですが、その伝統ある活動は今も会員に受け継がれ「追分の文化力」をこれからも発展させていく活動が期待されています。



地元企業が主催「第1回はチーズ！ニコニコカップ」

9月9日株式会社プロセスグループ夢民舎主催のサッカー大会がだしの広場で開催されました。

「暑い日や雨の日でも、ボールを追いかけ芝生を駆け回る子どもたちを応援したい」との同社宮本社長の思いが実現し、札幌や室蘭、静内などから22チームが参加。閉会式で挨拶をした同社西嶋部長は、「雨の中頑張る子どもたちにとっても感動。来年、再来年も継続して開催していきたい」と話していました。



ミステリーショッピング

9月15日安平町商工会が「ミステリー」な事業を実施しました。

決められたお店を回ってスタンプを集めると「秋の味覚セット」と交換。商品を買わなくても参加ができ、地元のお店を知るチャンスです。

更にヒントボックス内のキーワードを記入し答えると「景品と交換」してくれるなど、参加するだけでも楽しめるものでした。

町内の各商店では、お得な商品やメニューを取り揃え「買い物」を楽しむイベントとして好評でしたが、参加しないとわからないという、不思議なイベントでした。

長寿を祝って

毎年、敬老の日にあわせて100歳の長寿を祝い内閣総理大臣から表彰状と記念品（銀杯）が贈られます。

本年度、町内には5名の方が対象者となっていて9月17日・23日に開催された敬老会やご自宅に町長が訪問し伝達を行いました。

表彰を受けた方（敬称略）

- 北野トメ（追分花園）
- 濱田ヨシエ（追分青葉）
- 水戸ふみ子（追分花園）
- 村山タマ（早栄栄町）
- 目黒ミツエ（追分本町）



ふるさとおいわけ敬老会にて
(水戸さん)

追分駅開業120周年事業

明治25年、鉄道の運輸営業開始と共に追分停車場として開業して120年が経過したのを祝い、9月22日記念事業が開催されました。

JRヘルシーウオーキングや鉄道資料館の臨時開館、そして4分の1のミニSLの火入れ見学会が行われ大勢の方々が参加しました。

追分駅構内でのパネル展では、往年の「追分駅」の様子も展示され、その歴史を垣間見ることができました。

